

2023年3月期 決算補足説明資料

「中期経営計画(22中計)進捗状況」

パウダーテック株式会社

当社事業概要



当社は、日本初の鉄粉製造会社として発足しました。

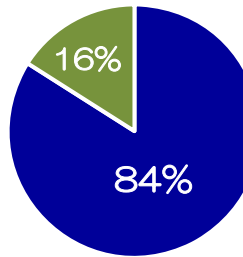
鉄粉の様々な用途開発を経て、凍える手を温めるカイロ用鉄粉、食品の安全を守り食品ロスを減らす鮮度保持剤（脱酸素剤）の鉄粉事業に発展しました。

現在の主力製品となる電子写真用キャリアも鉄粉の用途開発からスタートしました。その後フェライトへと材質を変え、今では世界標準になっている重金属を使わない環境に優しいEF（Environmentally Friendly）キャリアを開発しました。

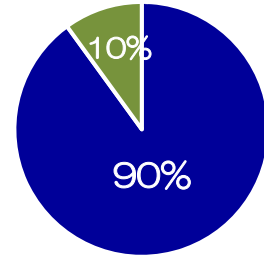
培ってきた基盤技術を応用展開し、新たな用途開発にチャレンジしております。真球状の微粒フェライト粉は世界でも類を見ないもので、未来社会の実現に貢献する素材として量産を開始しています。

事業構成（売上高とセグメント利益）

売上高



セグメント利益



■ 機能性材料事業 ■ 品質保持剤事業

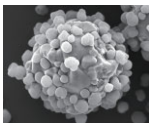
機能性材料事業



鉄粉製造を通して培われた技術は、電子写真用キャリアに展開。お客様のニーズにお応えした様々なキャリアを開発・製造・販売しています。

環境に優しい小粒径・長寿命フェライトキャリア

重金属フリーのEFフェライトキャリアは、マシンの消費電力削減や高画質、高耐久性指向に対応した現像剤として、特にオフィスや軽印刷のカラー機の分野で大好評を頂いております。



200種類超のキャリア製品

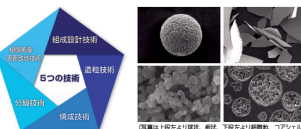
キャリアは搭載されるマシン、トナーとのマッチングが必要な製品です。そのため、お客様のご要望に応じカスタマイズされた製品となっております。



フェライト技術を支える5つの技術

「組成設計技術」、「造粒技術」、「焼成技術」、「分級技術」、「樹脂被覆・表面改質技術」により、粒径、形状、表面性状、磁気特性、電気特性といった物性をカスタマイズ。

新たな機能、新たな特性をもった粒子を開発・提案しております。



品質保持剤事業（旧鉄粉事業）



食の安全・安心を守る脱酸素剤「ワンダーキープ」

多種多様なお客様のニーズに応える

1986年の販売開始から、お客様の様々なニーズに対応し安心してご使用頂けるように常に徹底した品質管理を実施し生産しています。

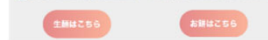


ワンダーキープ

鉄粉が酸化する際の酸素吸引効果を活用し、包装容器内の酸素をゼロ（0.1%以下）にすることによって、食品の鮮度保持や変色防止に大きな効果をもたらします。



ワンダーキープ® デジタルWebページ



ワンダーキープ®デジタルWebページへは、弊社HP若しくは上記「QRコード」経由でアクセス可能です。

経営理念

技術を以て社会の繁栄に貢献する
.....
誠実を以て貫く
.....
チャレンジ精神、開拓精神に徹する
.....
社会のニーズに迅速に対応する

ありたい姿

独自技術で社会課題を解決し、社会に必要とされる
『エッセンシャル企業』を目指す

独自技術

世の中になく独自の素材を独自のプロセスで製造する

社会の課題を解決

持続可能な社会とニューノーマル社会の両立に素材から貢献する

エッセンシャル企業

未来社会を（独自の素材で）支える必要不可欠な企業

外部環境

1 不確実性の増大

- 地政学的リスク 民主主義vs権威主義
- インフレ懸念 エネルギーコスト上昇
- サプライチェーンの混乱
- 資源、技術の経済安保化

2 COVID-19により加速した
ニューノーマル社会への動き

- コミュニケーション方法の変化
- ペーパーレス、リモートワーク

3 環境問題で重要さが認識された
持続可能な社会への動き

- 脱炭素
- ESG経営

マテリアリティ

収益基盤事業の維持向上

新規事業の継続的創出

持続可能な環境整備

本社機能の強化

中計基本方針

既存事業の収益性維持強化

新規事業の利益貢献実現

新規事業の継続的育成

事業基盤を支える本社機能
強化（ESG経営推進）

KPI

財務KPI（新経営目標）

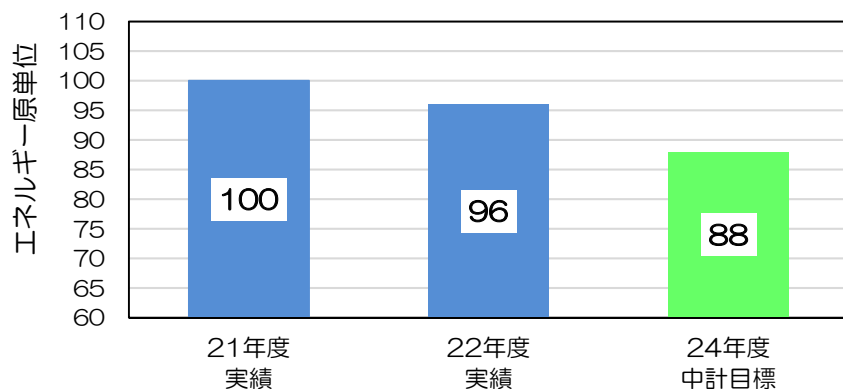
- 経常利益
- ROE
- 新規機能性材料売上高比率

非財務KPI

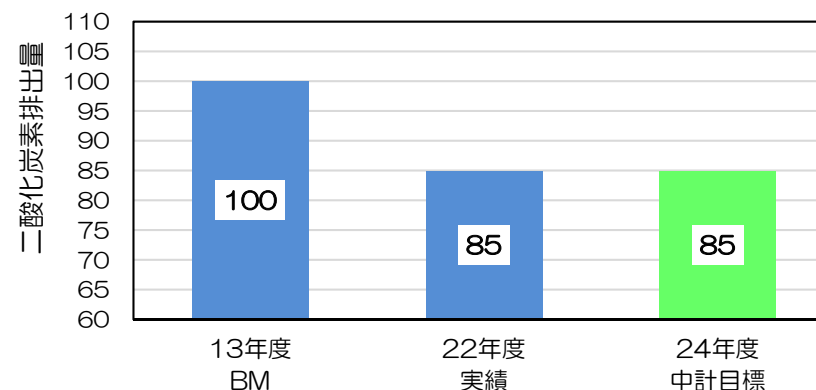
- ガバナンス強化
- 働く環境 / 従業員満足度
- 社会的評価 / IR活動・情報開示
- 環境 / エネルギー原単位及び
CO₂削減

区分	非財務KPI	取り組み	目標	進捗状況
E 環境	エネルギー原単位 及びCO ₂ 削減	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ対策の実行 政府目標に向けた計画の策定 脱炭素に貢献できる製品の開発 	<ul style="list-style-type: none"> 二酸化炭素排出量 2024年度 「2013年度比△15%」 (政府目標： 2030年 2013年度比△46%) 	<ul style="list-style-type: none"> 計画どおり進捗 2022年度「2013年度比△15%」 太陽光発電設備「オフサイトPPA」を 2024年度に導入
S 社会	働く環境/従業員 満足度	<ul style="list-style-type: none"> 多様な人材が働き続けられる 環境整備の実現 安全衛生教育の強化 育児休業の取得促進 研修制度のアップデート 	<ul style="list-style-type: none"> 新福利厚生棟の利用開始 労働災害の撲滅 女性活躍推進（採用と育成） 	<ul style="list-style-type: none"> 計画どおり進捗 新福利厚生棟は柏市との避難所協定締結 男性の育児休業取得率100% 健康経営優良法人認定取得キックオフ
G 企業 統治	ガバナンス強化 社会的評価/ IR活動・情報開示	<ul style="list-style-type: none"> 取締役会の機能強化 非財務情報の拡充 コンプライアンス教育の継続 実施 	<ul style="list-style-type: none"> 取締役会のスキル公開、実効性評 価とフィードバック ESG情報の開示 	<ul style="list-style-type: none"> 計画どおり進捗 管理職等コンプライアンス教育実施 有価証券報告書にESG情報を掲載予定

エネルギー原単位の推移



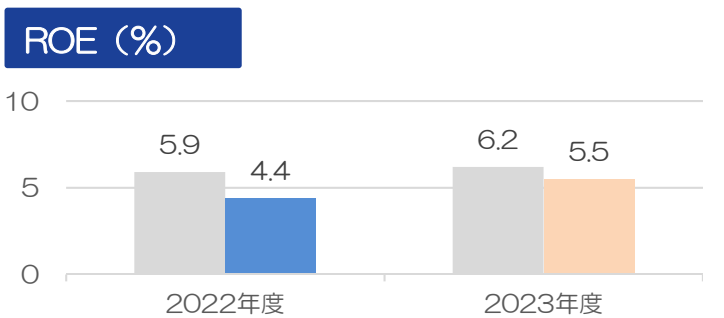
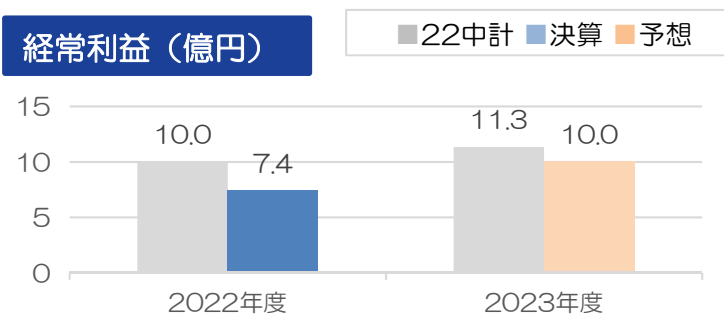
二酸化炭素排出量の推移



※政府指針年度

- ・既存事業（キャリア・脱酸素剤）の需要回復は、想定より遅れている。原燃料価格が想定以上に高騰しており、内部努力と共に販売価格の適正化を進める
- ・新規機能性材料は世界的なIT関連の景気減速の影響を受け、1年遅れでの本格的な量産立上げを見込む
- ・ポートフォリオの見直し（鉄粉関連製品の仕入販売を2022年9月末をもって終了）を行った

項目	22中計			進捗状況	
	2022年度目標	2023年度目標	2024年度目標	2022年度決算	2023年度予想
売上高（億円）	95.1	96.8	99.2	88.3	99.8
経常利益（億円）	10.0	11.3	13.4	7.4	10.0
ROE（%）	5.9	6.2	6.9	4.4	5.5
新規機能性材料売上高比率（%）	3.2	5.2	7.8	0.8	3.6

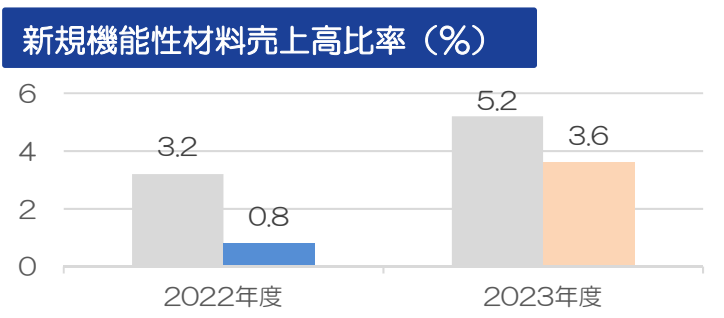


配当政策

基本方針：業績などを総合的に勘案しながら、株主の皆様へ安定かつ継続的に利益還元を行う
目 標：将来の事業展開に必要な内部留保を確保しつつ、配当性向30%以上とする
 DOE（株主資本配当率）2.5%以上を目指す

配当予想

	(1株当たり配当)	(配当性向)	(DOE)
2023年3月期：	80円	42.6%	1.9%
2024年3月期：	90円	36.7%	2.0%



		22中計			進捗状況	
	単位：億円	2022年度 目標	2023年度 目標	2024年度 目標	2022年度 決算	2023年度 予想
機能性材料事業	売上高	79.6	83.4	85.2	74.5	86.0
	セグメント利益	12.8	14.2	16.2	10.3	13.4
品質保持剤事業	売上高	15.6	13.5	14.0	13.8	13.8
	セグメント利益	1.5	1.3	1.6	1.1	1.2

注1.【諸元】 為替（円/\$）：22年度：136、23年度：130（22中計：115） 原油（\$/bbl）：22年度：93、23年度：80（22中計：80）
 注2. セグメント利益：セグメント情報に基づく営業利益ベースで記載しております

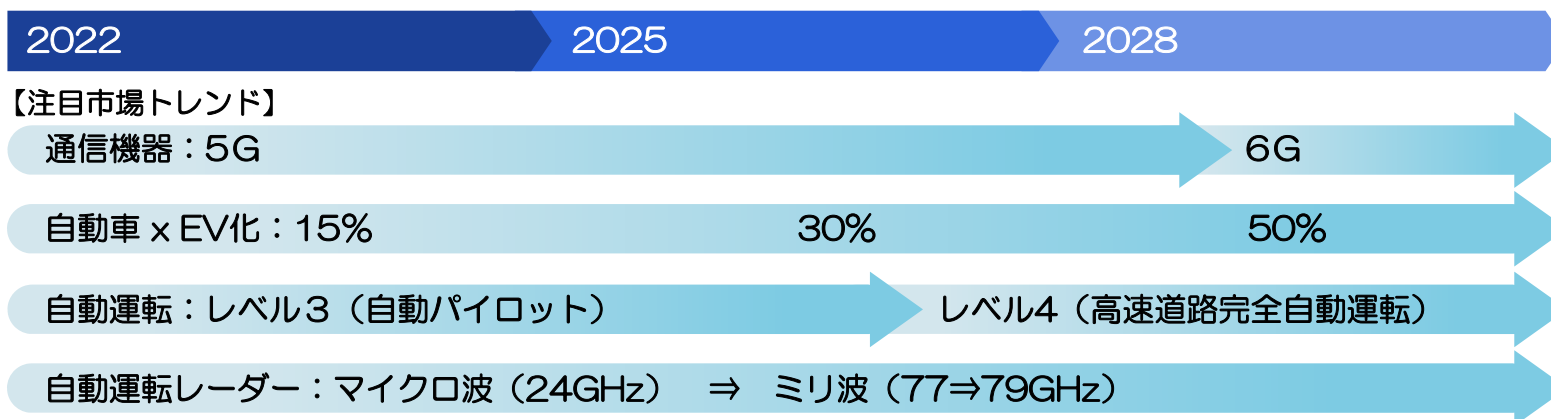
機能性材料事業

- 電子写真用キャリアは、中国でのロックダウンや半導体不足による複合機等の生産抑制で当初の計画より若干減少
- 新規機能性材料は、世界的なIT関連の景気減速の影響を受け、本格的な量産が1年遅延
- エネルギーおよび原材料価格の上昇が想定を上回り、販売価格の適正化を進めることで収益は回復

品質保持剤事業

- 脱酸素剤は、2022年度は新型コロナ禍が長引き、需要の回復が遅れたが、2023年度はアフターコロナが本格化しインバウンド需要の増加も期待され、需要は回復
- 2022年度はDXツールを活用した営業の効率化、水分依存型一体化脱酸素剤の拡販を推進

注目する成長市場に、当社独自の技術による新製品を提案、上市しつづける



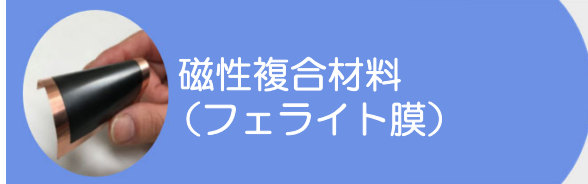
真球状微粒フェライト粉

重点テーマ 電子部品・電子材料
研究開発 新組成設計、超微粒粉、表面処理



電磁波シールド用フェライト粉

重点テーマ ミリ波シールド材
研究開発 新組成設計、板状粉



磁性複合材料（フェライト膜）

商品開発テーマスタート
研究開発 基材・フェライト組成設計

進捗状況

- 真球状微粒フェライト粉
 - ・量産開始
 - ・半導体不況で増量スピード低下
- 磁性複合材料
 - ・マーケティング開始
 - ・サンプル提供開始
- 多用途で引合あり
 - 電磁波シールド
 - 電子部品
 - 磁性インク 等
 - 数社で量産開始

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績を確約するものではありません。

実際の業績等は、地政学的リスクの動向、主要市場の経済環境、エネルギー・為替相場の変動など様々な要因により、大きく変動する可能性があります。重要な変更事象等が発生した場合は、適時開示等にてお知らせします。本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行っていただきますようお願い致します。

本資料を利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。